〔源氏物語二帚木〕こゝろもはやりかにていふやう、月比ふびやうおもきにたへかねて、ごくねつのさうやくをぶくして、いとくさきによりなん、えたいめん給はらぬ、まのあたりならずとも、さるべからんざうじらは、うけ給はらんと、いとあはれにうべ〳〵しくいひ侍り、

〔源氏物語三十四若菜〕あるじの院は、けふのゆきにいとゞ御風くはゝりて、かきみだりなやましくおぼさるれど、この宮の御こと聞えさだめつるを、こゝろやすくおぼしけり、

〔源氏物語四十六椎本〕三昧、けふはてぬらんと、いつしかと待聞え給、夕暮に、人まいりて、けさよりなやましうてなん、え參らぬ風かとて、とかくつくろふものする程になん、さるは例よりもたいめんこゝろもとなきを聞え給へり、

〔異疾草紙〕ちかごろ男ありけり、風病によりて、ひとみつねにゆるぎけり、嚴寒に、はだかにてゐたる人のふるひわなゝくやうになむありける、

〔倭名類聚抄三病〕癲狂　唐令云、癲狂酗酒、皆不得居侍衛之官、癲音天、狂訓太布流、俗云毛乃久流比、本朝令義解云、癲發時臥地吐涎沫、無所覺、狂或自欲走、或自高稱聖賢也、

〔箋注倭名類聚抄二病〕按本朝選叙令云、凡經癲狂酗酒、及父祖子孫被戮者、皆不得任侍衛之官、此所引唐令、蓋選擧令文、選擧令在唐令第十、見唐六典、又按說文、無癲字、有瘨字、云病也、是雲漢詩胡寧瘨我以旱之字、非此義、說文又有蹎字、云跋也、是蹎倒字、漢書貢禹傳、蹎仆氣竭是也、癲疾以發時蹎仆於地得是名、宜作蹎疾、而經典蹎倒字、借頂顛字爲之、故蹎疾亦作顛疾、後俗从疒作癲、以別顛倒字、或省作瘨、廣雅玉篇並云、瘨狂也、玄應音義引聲類云、瘨、風病也、是也、與毛詩說文訓病也瘨字自別、王念孫引說文證廣雅瘨字者誤、說文又云、狂、猘犬也、故其字從犬、人之失心、如狂犬之狀、故謂之狂、所謂轉注也、又按萬葉集大伴宿禰家持逸鷹歌、罵山田史君麻呂、謂多夫禮多流之許都於吉奈、續日本紀、天平寶字元年詔謂、謀反人橘奈良麻呂、大伴古麻呂等、惡逆在奴久奈多夫禮麻度比、齊